

令和6年度 教育委員会事務局教育部運営方針

部局名 : 教育委員会事務局教育部

部局長名 : 鍋谷 芳比古

基本方針（政策目標）

教育委員会事務局教育部は、学校・社会教育施設などの教育機関を管理・更新し、学校の組織編制や教育課程、教科書採択などの事務を行うとともに、社会教育や学術・文化、青少年育成やスポーツ推進に関する事務の管理・執行を行うなど、教育行政を担います。

施策の推進にあたっては、「泉大津市教育振興基本計画」「泉大津市生涯学習推進計画」「学校園に対する教育方針」に基づき、すべての子どもたちの可能性を引き出し、個別最適な学びと、協働的な学びをさらに推進するとともに、自分自身が受けた教育を自分の子どもにも受けさせたいと思える教育施策の推進を図ります。

- ① 小津中学校長寿命化改良工事・上條小学校建替工事及び楠小学校長寿命化改良工事設計を進めるにあたり、新しい時代の学びを実現する学校施設をめざすとともに、令和4年度に策定した「泉大津市教育施設再編計画」に基づき、「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」を推進するため、学校と地域の連携・協働の拠点となる地域交流ゾーンを整備します。その活用を通じて、子ども一人一人の多様な個性を最大限に生かす「個別最適な学び」に加え、子ども同士や地域の大人など他者との関わりを通じて創り出す「多世代による協働的な学び」の充実に努めます。
- ② 中学校給食について、デリバリー方式から自校調理方式に変更するため各校に給食調理室を整備し、より美味しい給食の提供と、調理員と顔の見える関係をつくることによる、さらなる食育の推進を図るとともに、危機管理機能も強化していきます。
- ③ 発酵食品や有機食材といった、子どもたちにとってより良い食材や通常の給食では味わえないような食材を使用する特別な給食である「ときめき給食」や農

地が少ない本市と農山村地域との共存共栄を目的とした取り組みの中で購入している有機米や特別栽培米を、体により良い栄養価やうま味を残した特別な精米方法を施したうえで、全ての給食で提供することを継続するとともに、季節を感じられる食材の充実によるさらなる食育の推進を図り、野菜等の食材においては、有機農法によって生産されたものを使用するなど、安全・安心な食材を増やして、子どもたちの未来を育む給食を提供します。

- ④ 「泉大津市学力向上プラン（令和6年度から3カ年計画）」に基づき、リーディングスキルの視点と、全国学力・学習状況調査等の「問題・結果」分析の観点を取り入れた授業づくりを進め、子どもたちの学力の向上を図ります。
- ⑤ 子どもたちの国際感覚及び英語への関心を高め、コミュニケーション力の向上を図るため、学校に常駐する外国語指導助手（ALT）を2学期から7小中学校に配置し、英語教育の推進を図ります。
- ⑥ 誰一人取り残されない学びの保障に向けた対策として、学校には登校できるが、教室に入ることが難しいこどものために、教室以外の学びの場となる校内教育支援ルームを小学校2校に常設するなど、不登校の子どもへの早期対応・早期支援を行います。
- ⑦ 市民が気軽に文化芸術について話し合えるワークショップ「ブンカミーティング」を引き続き定期開催します。ブンカミーティング等での意見やアイデアを取り入れながら、まちの中でさまざまなアートに触れられる「まちなかアートフェス2024」を実施し、そのスポットを市域のいたるところへ広げていきます。
- ⑧ 本市の魅力ある歴史・文化・文化財を、いつでも・どこでも・だれでも見ることができるデジタルアーカイブ「オリアムデジタルヒストリー」を活用し、本市の魅力と価値を広く発信するとともに、教育現場での積極的な活用を推進します。
- ⑨ キミと、よみドキっ！こどもの読書活動推進計画に基づき、図書館シープラでは、学校や関係機関と連携しながら、こどもの読書活動が豊かになるようサポートします。加えて、市域の様々な場所で本や学びに触れられる「まちぐるみ図書館」の拡充を進めます。
- ⑩ 留守家庭児童会（仲よし学級）の利用者サービスの向上を図るため、旭仲よし学級を民間委託し、プログラムの充実や、利用者のニーズに応えたサービス提

供を実施します。また、今後の運営方針を検討するため委託の実績検証を行い、より良い運営をめざします。

- ⑪ 子どもが安全で安心して過ごせる居場所を増やすことを目的に、放課後や休日の学校で子どもたちが参加できる体験プログラムを実施するため、民間事業者と連携し地域住民がプログラムに参画できる体制を構築し、全ての小学校で放課後子ども教室の整備を行います。
- ⑫ 空調設置や床面の張替えなど新たに環境整備した総合体育館を活用し、年間を通じて運動できるイベントの開催や、様々な競技を観戦できるよう大会を誘致するなど、多くの市民がスポーツを体感できる機会を創出します。